

E771Z800H70

お願い

- ・周囲温度は、5 ～ 35℃以内で使用してください。
- ・器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せると、ちらつきや騒音の発生、電源ユニット故障の原因となります。リレー接点式人感センサスイッチを使用してください。
- ・防犯カメラ等を使用する場合は、フリッカー対策仕様のカメラを使用してください。
- ・電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200 V電源を使用する場合は両切スイッチを使用してください。消灯時に微発光する原因となります。
- ・無線調光ユニットを取付けて使用する場合、専用コントローラとの組合せで使用してください。専用コントローラが設置されていない、または、電源がOFFの場合には、照明器具の電源投入から点灯までの時間が遅くなります（約5秒程度）。コントローラの電源がONになっていることを確認してください。
- ・LED 光源の交換はできません。交換の際は LED ユニットごと交換してください。

お知らせ

- ・LED 素子にはバラツキがあるため、器具内の個々の LED や同一型番の器具でも、発光色・明るさが異なる場合があります。
- ・壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。
- ・虫の飛来が多い場所で使用される場合、LED ユニット内に虫が侵入する恐れがあります。このような場合は、虫が入りにくい防雨・防湿形器具などをおすすめします。
- ・商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器は電源ユニットの周波数と干渉して誤動作する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。
- ・電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- ・電源事情の悪い場所では、LED がちらつく場合があります。
- ・バーコードリーダーを器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなる場合があります。事前確認することをおすすめします。
- ・誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百 kHz の誘導無線（同時通訳システム）及び数百 MHz の空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので、事前確認することをおすすめします。100V 電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

お手入れ

<器具>

- ・器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないでともに、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。

<カバー>

- ・カバーはキズがつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。強い力で拭いたり、化学雑巾を使用しないでください。

故障かな?と思ったら

Q " ピシッピシッ " という音がする。
A 温度変化で部品などが膨張・収縮してこずれる音です。

Q テレビ・ラジオ・マイクなどが誤作動する。雑音が入る。
A 照明器具から離してご使用ください。赤外線リモコン式の機器や無線機器は雑音が入り正常に動かない場合があります。

保証とアフターサービス

- ・無償修理
照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間です。

※保証とアフターサービスは、器具本体とLEDユニットに適用されます。
保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

仕様			定格モード						節電モード		
LED ユニットタイプ	LEDユニット型番	定格電圧 (V)	入力電流 (A)			消費電力 (W)			段調光 (70%) 消費電力 (W)		
			100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V
5200lm 一般タイプ	AE49949L	AC100 ー 242	0.339	0.168	0.140	33.2	32.5	32.5	22.7	22.4	22.4
2500lm 一般タイプ	AE49950L	AC100 ー 242	0.172	0.087	0.074	16.9	16.7	17.0	11.8	11.8	12.0

・電源周波数50Hz/60Hz共用形です。

異常時の処置

警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る（火災・感電の原因）
煙が出なくなったことを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。
(ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にならない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)

製品・お取り扱いなどのご相談は

お客様相談室

ナビダイヤル
(全国共通番号)

電話

 0570-055123

受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などに変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

修理・アフターサービスのお問い合わせは

サービスセンター

ナビダイヤル
(全国共通番号)

電話

 0570-015123

FAX

 0570-025123

受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

KOIZUMI

コイズミ照明器具

E771Z800H70

保管用

LED ユニット形ベースライト 40形 直付形

[段調光形 (100%,70%)]

取扱説明書
据付工事説明書

- 販売店・工事店さまへ：この説明書は保守のため、お客さまに必ずお渡しください。
- お客さまへ：説明書をお読みになった後は大切に保管し、必要な時にお役立てください。

LEDユニットタイプ	LEDユニット型番	光色 (色温度)	質量	直付形	適合本体	器具本体型番	質量
5200lm 一般タイプ	AE49949L	昼白色 (5000K)	約0.8kg		逆富士タイプ 150幅	AH90782L	約1.0kg
2500lm 一般タイプ	AE49950L	昼白色 (5000K)	約0.8kg		逆富士タイプ 230幅	AH90783L	約1.3kg

- ・表の器具本体と組合せてご使用の場合は、本説明書の取付方法を参照ください。
- ・上表以外の器具本体の取付方法は、本体に同梱の説明書を参照ください。

安全のために必ず守ること

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■図記号の意味は次のとおりです。

禁止

指示を守る

警告

- 配線工事、器具取付の際は必ず電源を切る（火災・感電の原因）
- 補強のない天井には取付けない（火災・落下の原因）
- 器具を密集して取付けない（200mm以上離す）（器具の温度が高くなり火災の原因）

禁止

- 器具取付けの際は電線を挟まない（絶縁不良により、火災・感電の原因）
- 配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない（絶縁破壊により、火災・感電の原因）
- 電源線・アース線は確実に接続し、端子台の最大送り容量を超えない（火災・感電の原因）
- 引火する危険のある雰囲気〔ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所〕で使用しない（火災の原因）
- 高温〔35℃を超える〕、高温〔85%RHを超える〕、粉じん、機械工場などの油煙のある場所、強い振動・衝撃のある場所で使用しない（火災・感電・落下の原因）
- 狭い箱のような中で使用しない。また、器具を隠して使用する場合は、放熱を妨げない（器具が過熱して火災の原因）
- 器具を布や紙などで覆わない（可燃物を被せて使用すると火災の原因）
- 器具の改造や指定部品以外の交換はしない（火災・感電・落下の原因）
- 器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない（火災・感電の原因）
- LEDユニットは精密機器のため、取付け・取外しの際は器具本体の◇マーク付近を持ち、ひねらない（感電・落下の原因）

注意

- 施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程、据付工事説明書に従い行う（施工不備により、火災・落下・感電の原因）
- 必ず当社の専用器具本体とLEDユニットとの組合せで使用する（火災・感電・落下の原因）
- レースウェイに取付ける場合、器具は建築設備耐震設計・施工指針に基づき施工されたレースウェイに取付ける（落下の原因）

注意

- 器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない（過熱して火災の原因）
- 光を直視しない（長時間直視すると目を痛める原因）
- 仕様図の指定箇所・指定方向以外には取付けない（火災・落下の原因）

禁止

- 器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない（絶縁不良やさびにより、感電・落下の原因）
- 直射日光の当たる場所、腐食性ガスやオゾンが発生する場所で使用しない（劣化による落下の原因）
- 屋外、水や湿気の多い場所、軒下・開放型駐車場・ピロティ等の雨線内で使用しない（火災・感電の原因）
- 風が吹く場所で使用しない（落下の原因）
- 表示された電源電圧以外では使用しない（火災・感電の原因）
定格電圧の90%以下での使用は、電源ユニットの故障・短寿命となります。

注意

- 明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検、3年に1回は工事店等の専門家による点検を行う（点検不備により、火災・感電・落下の原因）
- ・照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと外観に異常がなくても内部の劣化が進行していますので、点検・交換をおすすめします。LED光源は寿命がきても暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

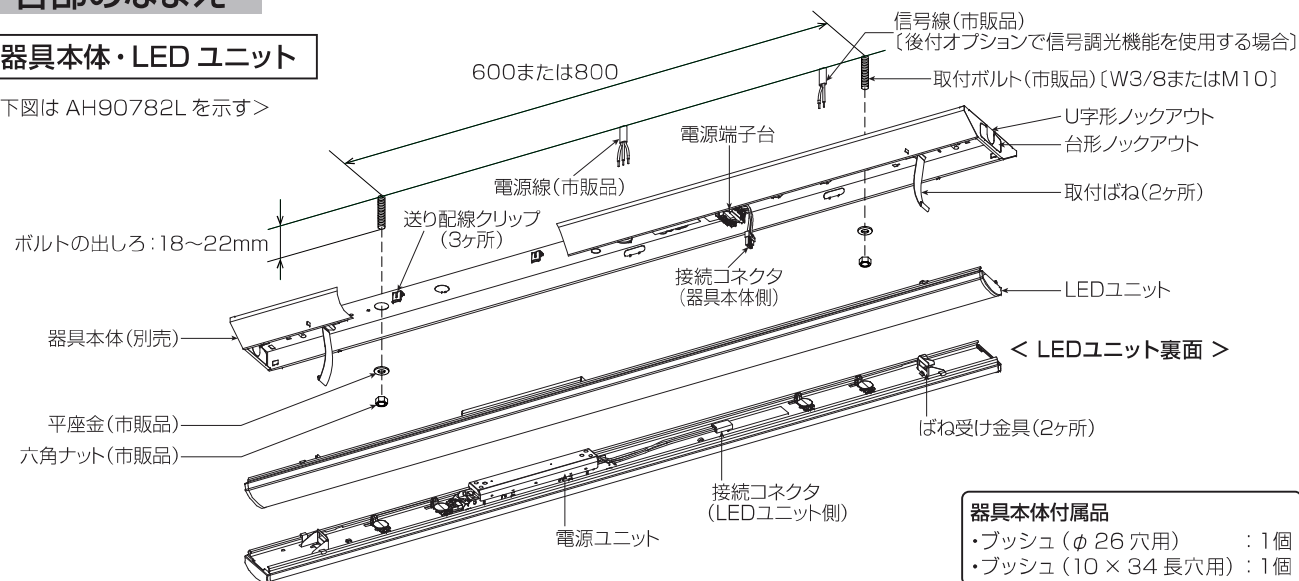
施工者様へ

以下の各部のなまえ・取付方法等をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

各部のなまえ

器具本体・LEDユニット

<下図は AH90782L を示す>



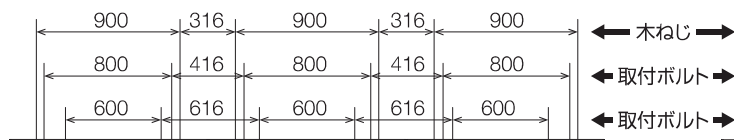
器具本体付属品

- ・ブッシュ (φ 26 穴用) : 1個
- ・ブッシュ (10 × 34 長穴用) : 1個

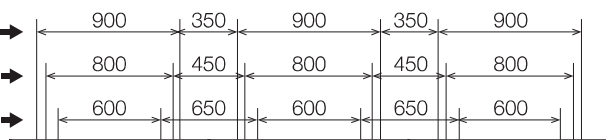
連続取付ピッチ

※取付ピッチ 600mm の使用可否及び取付穴については組合せ型番の仕様図をご確認ください。

【AH90782L の場合】



【AH90783L の場合】



据付場所の選定

- ・天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな場所
- ・温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスやオゾンが発生しない場所
- ・一般屋内でも器具周囲に硫黄成分が存在しない場所
- ・その他仕様図に記載された事項が守られた場所

取付方法

⚠ 警告

施工は、据付工事説明書に従い確実にを行い、LEDユニットの取付け・取外しの際は、必ず電源を切る（火災・感電・落下の原因）

1 取付前の確認

- (1) 器具本体質量、LEDユニット質量、オプション（ガード等）質量、及びLEDユニットの引き下げ力（60N）の合計に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。

- ・オプションの質量は、適合品の仕様図を参照ください。
- ・取付ボルトを使用の場合は、W3/8 または M10 を使用する。
- ・木ねじを使用の場合は、丸木ねじの呼び径 4.1 以上を使用し、板厚は 9mm 以上とする。
- ・取付面に対し、取付ボルトが垂直であることを確認する。

- (2) 取付ボルトの長さは、天井面より18～22mmにする。

⚠ 警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

2 器具本体を取付ける

- (1) 器具本体のブッシュ付電源用穴に電源線・アース線を引き込む。ノックアウトの電源用穴を使用する場合は、必ず器具本体に付属のブッシュを取付ける。

- (2) 別途手配の平座金、六角ナットを用いて、本体を確実に固定する。六角ナットの締付トルクは 1.0～1.2N・m。

お願い

締付トルク値を守ってください。（器具変形・天井面とのすき間の原因）

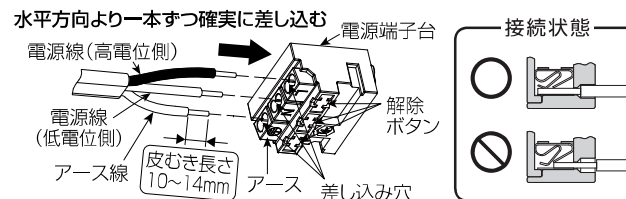
3 電源線・アース線を電源端子台に接続する

- (1) 電源線・アース線を電源端子台の差し込み穴に、水平方向より一本ずつ確実に差し込む。
 - ・適合引込み電源線 : φ1.6mmVVF単線 または φ2.0mmVVF単線
 - ・電源線を電源端子台から取外すときは、幅6mmのマイナスドライバーで、解除ボタンをまっすぐに押す。
 - ・電源端子台の送り総容量はLEDユニットの明るさタイプで異なります。（下表参照）

明るさタイプ	送り総容量
5200lmタイプ	14A
2500lmタイプ	20A

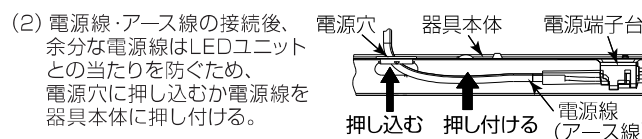
⚠ 警告

D種（第3種）接地工事は電気設備の技術基準に従って行い、漏電遮断器を確実に設置する（故障・漏電の時に、火災・感電の原因）



⚠ 警告

- ・電源の接続は適合電源線の被覆を指定長さにむき、1本ずつ差し込み穴の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）
- ・送り配線は照明器具専用回路とし、電源端子台の送り総容量を確認して接続する（容量を超えると電源端子台が過熱して火災の原因）



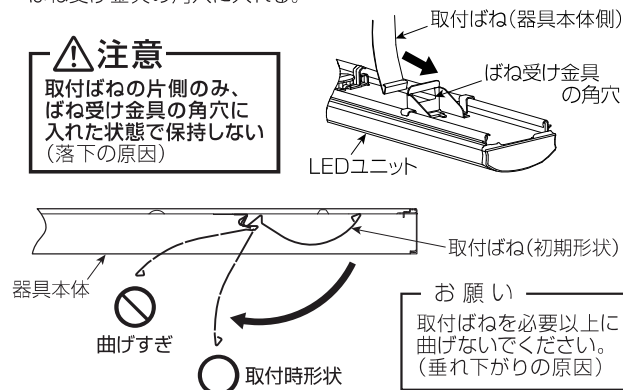
4 LEDユニットを器具本体に取付ける

- (1) 器具本体側にLEDユニットを仮取付けする。

- ・器具本体の取付ばねを下に曲げて、LEDユニット両側のばね受け金具の角穴に入れる。

⚠ 注意

取付ばねの片側のみ、ばね受け金具の角穴に入れた状態で保持しない（落下の原因）



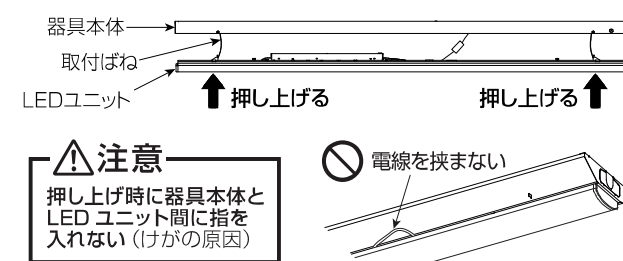
- (2) 器具本体側とLEDユニット側の接続コネクタを接続する。

お願い

接続時にLEDユニットに、過度な荷重をかけないでください。（破損の原因）



- (3) LEDユニットのばね受け金具近傍を持ち、電線を挟まないように器具本体側へ押し上げてLEDユニットを取付ける。



⚠ 注意

押し上げ時に器具本体とLEDユニット間に指を入れない（けがの原因）

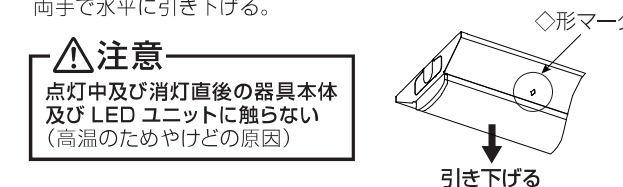
5 点灯の確認を行う

6 LEDユニットの取外しかた

- (1) 器具本体の◇形マークを目印に、LEDユニット側面部を持ち、両手で水平に引き下げる。

⚠ 注意

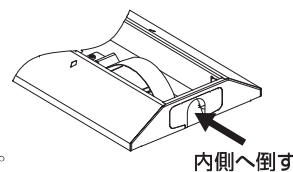
点灯中及び消灯直後の器具本体及びLEDユニットに触らない（高温のためやけどの原因）



7 連続取付の場合

- (1) 取付ピッチを確認する。（2ページを参照）

- (2) 器具本体のU字ノックアウトを器具本体の内側に倒して取外す。



- (3) 器具本体の端部をそろえて連結する（器具本体の中心を合わせる）。

- (4) 連続取付の中央部から両端に向かってLEDユニットを器具本体に取付ける。

※連結金具（AE44067E：別売）をご使用いただくと、器具本体の中心が合わせやすくなります。

8 器具内送り配線をする場合

- (1) 取付ばね・電源ユニットに触れないように配線し、送り配線クリップに挿入して固定する。

⚠ 注意

- ・ノックアウト部分（電源用）には、各配線のシース（外被）を残して施工する（火災・感電の原因）
- ・5200lmタイプは、エコケーブルソフトタイプ（電源線：φ1.6EM・EEF）を使用する（火災・感電の原因）

据付工事後の確認

- ・据付工事が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください（機能が発揮できないばかりか、安全性を確保できません）。

チェック内容	チェック欄
電源線・アース線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込んでいますか。	
器具本体とLEDユニットのコネクタを接続していますか。	
器具本体とLEDユニットが確実に取付いていますか。	

試運転

- ・お客様立ち会いで試運転を行ってください。特に「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- ・物件などで使用者が不在の場合は、発注者（オーナー・ゼネコン）や管理人などに説明してください。

お客様への説明

- ・取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。特に「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- ・物件などで使用者が不在の場合は、発注者（オーナー・ゼネコン）や管理人などに説明してください。

⚠ 警告

お客様自身で電気工事をしない（火災・感電の原因）
電気工事士の資格が必要です。

お客様へ

以下の使用方法・お願い等をよくお読みになり、正しく安全に使用してください。

使用方法

<定格・節電モードの切替>

- ・壁スイッチ操作により、点灯モード（定格モード・節電モード）の切替が可能です。
- ・出荷時は定格モードに設定されています。
- ・消灯しても消灯前の点灯モードで記憶しています。



- 定格モード切替 : 約 5 秒の間に明るさが 1 回変化します。
- 節電モード切替 (約 70%) : 約 5 秒の間に明るさが 2 回変化します。

<リセット操作>

- ・器具間の点灯モードが揃わない場合、壁スイッチ操作により定格モードリセットを実施してください。※いずれの点灯モードからも定格モードへリセットされます。



- 明るさが 1 回変化すればリセット完了となります。